

神奈川県身体障害者連合会会報

身障かながわ

発行 (公財)神奈川県身体障害者連合会
 会長 内藤 則義
 〒221-0825
 横浜市神奈川区反町3-17-2
 電話 045-311-8736 FAX 045-316-6860

編集 「身障かながわ」編集委員会
 編集委員長 新井 修身

印刷 株式会社あんざい

- 第66回神奈川県身体障害者福祉大会 ①
- 新型コロナウイルス感染拡大で、困ったこと ②
- 揺れに揺れ「存続」70周年へ ③
- コロナで変わった暮らし ③
- 第21回全国障害者スポーツ大会 ④

- 石老山・顕鏡寺 ⑤
- 共生社会を目指す新たな条例が可決、施行 [鎌倉市] ⑤
- 私と障害者スポーツ ⑥
- 第15回神奈川県障害者スポーツ大会選手募集 ⑥
- 県身連事業予定 (10月~1月) ⑥
- 編集室から ⑥

第六十六回
神奈川県身体障害者福祉大会

十月十日(日)に開催を予定していた第六十六回神奈川県身体障害者福祉大会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い大会を中止といたしました。昨年の第六十五回も中止となつてしまったため、二年続けて開催することが出来ませんでした。

大会の開催に向けて多くの関係機関の方々にご協力をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

表彰については、被表彰者の審査を行い表彰等が決定いたしました。大会が中止のため、今年度の表彰は郵送での授与となります。

○表彰
県身連会長表彰(敬称略)

○表彰

- 古川 正博 (鎌倉市)
 - 渡辺 貞子 (鎌倉市)
 - 吉原 君子 (相模原市)
 - 赤妻 正三 (大和市)
 - 齋藤 隆夫 (愛川町)
 - 向笠 春美 (真鶴町)
- 感謝状 (地域団体活動)
- 米山 實 (連子市)
 - 伊勢原



新型コロナウイルス感染拡大で、困った事など・・・

空白の「令和二年と三年」

県身連副会長(肢体)小出 庄作こいで しやまぞく

新型コロナウイルスの感染が日本で確認されてから、二年になろうとしています。

現状では、終わりが見えない新型コロナウイルスの感染拡大で外出もままならず孤独なマスク生活は、いつまで続くのか・・・。

そんな中、今年二月に私達相身連会員の一人が、コロナウイルス感染が判明、高齢なので大変心配したのですが、重症にならず、二週間後に無事退院することができました。

身近な人の感染と聞き、他人事ではなく、自分自身も高齢である事を忘れずに、日常生活を過ごして行けたらと思う毎日です。

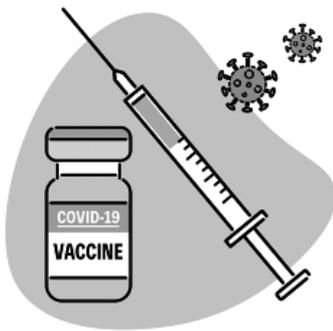
令和二年度は、コロナウイルスの影響で、相身連各団体(肢体協会・視覚協会・難聴者土の会)の活動が制限され、市側と障害者団体との事業活動、県身連事業活動のほとんどが中止となりました。そして令和三年も残り、二ヶ月余りとなりました。

令和二年度と同じように、令和三年も障害者スポーツを始め、県内の市町村各団体の事業活動、県身連の事業活動のほとんどが中止となり、コロナが収束に向かうどころか、感染力の強い変異ウイルス

スの拡大で、感染者数の増加と、終息が見えない状況に大変心配しています。

県内市町村では五月から、新型コロナウイルスワクチン予防接種が始まりました。私達、高齢者が感染の恐怖から抜け出す事ができるのか、東京オリンピック・パラリンピック開催と同時に、変異ウイルスの急激な感染拡大で、首都圏では緊急事態宣言が発令。二十代から四十代の若い人達の感染者が、急激に増加しています。早く若い世代の人が、ワクチン接種を受けて、変異ウイルスの感染者が、縮小に向かうことを願うばかりです。

令和二年と三年は、コロナの影響で、ただ、歳を重ねた空白の二年間だったような気がしています。



県身連副会長(聴覚) 渡邊 千城わたなべ ちしろ

令和二年一月頃から新型コロナウイルスが流行し始めました。得体的に知らないウイルスに私達は恐れ、マスクや消毒液が店頭から消えました。でもこの頃はまだ、誰もが数ヶ月で収まるだろうと思っていたはずでした。

そうしているうちに、令和二年四月に政府より緊急事態宣言が発令され、神奈川県聴覚障害者福祉センターも休館になりました。

感染拡大を防ぐために外出自粛要請がでると同時に、スーパーやドラッグストアなどに行けなくなり、商品がなくなり、飲食店などは閉まり、街から人が消えました。

聴覚部会の行事も、講演会デファドベンチャー、デフウェイなどが中止となり、聴覚障害者の交流の機会がなくなりました。特に、LINE、メール、インターネットができない高齢の聴覚障害者は全く情報がなく、誰にも会えず、寂しい思いをしています。

困ったことは、「情報獲得」と「コミュニケーション」が困難になったことです。最初、県知事のメッセージや記者会見には手話通訳がつかず、私達はその内容がわかりませんでした。すぐに県に要望し、手話通訳をつけてもらいました。また、感染防止のため、皆がマスクをするようになったため、口元が見えず、何を話しているのかわからず、話しかけられませんでした。

手話通訳も感染防止のため、一時、通訳の派遣が停止された市もありました。手話通訳の派遣で一番多いのは通院などの医療関係ですが、病院は感染の危険性が高いため、遠隔手話通訳サービスの利用を要望し、コロナの診療関係の通訳のみ遠隔手話通訳サービスを利用できるようにしました。医療関係に限らず、どこでも感染する可能性はありますので、手話通訳も医療従事者などと同じように優先接種が受けられるよう、県などに要望を出しました。

コロナに関する相談などの窓口も初めは電話だけしかありませんでしたので、ファクス、メールでも相談などができるよう県、市町村に要望しました。

ワクチン接種が始まっていますが、これも接種の予約が電話とネットではかできない市町村がほとんどで、高齢聴覚障害者など、電話もネットができず、近くに親族がいない人は困りました。ファクスでの予約もできるよう、要望を出していますが、なかなか進んでいません。接種の際の手話通訳も必要です。聞こえない人も希望すれば安心して接種を受けられることが大切です。

感染というリスクを背負いながら働いて下さっている人や、コロナウイルスから守ろうとして下さる人に感謝をし、思いやる心を大切にしながら自分に何ができるのかを探して行動していきたいと思えます。

揺れに揺れ「存続」

七十周年へ

逗子市 大石 忠

二〇一五年頃からもう解散の声が出はじめた。会員減少と高齢化、役員のなり手がいない。臨時総会を再三実施。市、社協、県身連に実情を訴え、存続のご支援をお願いした。

市町村のページ

昔は私たち障がい者の福祉向上、人権尊重等、国や自治体への要望運動の必要から一致団結したが、今は障害者権利条約批准、障害者差別解消法、福祉計画等法制度やサービ

ち上げた福祉の店「青い鳥」売店の閉店と自販機の撤去であった。市の財政も厳しい中、当時私たちは五十代、六十代の働き盛りで、障がいがあっても地域の人々に役に立ちたいと、働く場所でもあった。毎年夏になるとプールが開かれ、幼児から小中学生、家族に飲

物やパン、和菓子を販売し大変喜ばれた。

お陰様で運営も順調でした。財政上も多少の収益を得て、処分等の費用もまかなえ、多くの方々のご支援によるものと本当に感謝しています。

丁度、運良く市の事業支援金を当団体が受けられることになり、二〇一九年十月にバスによる伊勢神宮参拝に二十五名の会員が参加し、なんと七十年を目標としていこうと励まし合ったことが、よい思い出になりました。役員達の懸命の働きで、こうして事業縮小、組織の軽量化が図られました。これからも、上部団体としての県身連のアドバイスを受け、また、行政、社協への委員派遣をし、会員の声を届けて、二〇二二年一〇月には、七十周年記念の集いを行えればと、コロナの収束をも併せてお祈りしています。

最後になりましたが、この小さな弱い者の心の声を地域の人々に届けてくださった東京新聞横浜神奈川支局の方にあります。



コロナで変わった暮らし

厚木市 開沼 クミ子

私達が住んでいる厚木市は、母なる川、相模川で栄えた自然豊かな所です。

二〇二〇年、オリンピック・パラリンピックが開催する年、新型コロナウイルスが拡大で、あつぎ桜まつりが中止となり、八月あつぎ鮎まつりが花火大会を十月に延期しましたが、厚木中央公園でのあつぎ国際大道芸など両方とも中止となりました。新型コロナウイルスが世界中で拡大し、東京でも沢山の人が新型コロナウイルスに感染し、東京オリンピック・パラリンピックの開催は、一年後に延期決定となりました。

令和三年、新しい年を迎えましたが、新型コロナウイルス感染拡大で昨年同様、あつぎ桜まつり、あつぎ鮎まつりは中止となりました。その頃、厚木市では新型コロナウイルス対策で、ワクチンの受付と接種が始まりました。

一年延期となった東京オリンピック・パラリンピックは、七月二十三日の午後八時から国立競技場で、コロナ禍のため無観客で開催、一万一千人の選手出場で八月

八日までの十七日間開催されました。

厚木市も、七月二十二日から八月二十日、緊急事態宣言のためどこにも出られません。オリンピックをテレビで観戦しました。それでも感染が拡大し、緊急事態宣言が九月三十日まで延長になった。八月二十四日から九月五日まで東京パラリンピックが開催され、コロナ禍で無観客、四千四百人の選手出場でした。

厚木市の小林常良市長は、入院による病床逼迫のため、大人四十床、子供四床を市立病院に緊急で用意しました。

一日も早く新型コロナウイルスの感染が終息し、普通の暮らしが出来るよう願います。そして皆さんとまた、旅行やお話しなど、早くお会いしたいです。



第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」

10月23日(土)～25日(月)にかけて開催される予定でした第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止となりました。

第19回大会の茨城県から3年連続で大会が中止となり、派遣を予定していた選手はとても残念であったかと思えます。

三重大会へ派遣予定でした選手をご紹介します。

《神奈川県選手団》

○身体障害者競技選手

【陸上競技】

名 前 (フリガナ)	市町村	区 分
坂田けんじ ウィルソン (サカタ ケンジ ウィルソン)	伊勢原	肢体
遠 藤 麻衣子 (エンドウ マイコ)	秦 野	肢体
宮 野 章 子 (ミヤノ アキコ)	横須賀	肢体
篠 田 力 (シノダ リキ)	横須賀	肢体
笹 原 幸 英 (ササハラ ユキヒデ)	伊勢原	肢体
柏 崎 嘉 則 (カシワザキ ヨシノリ)	横須賀	肢体
村 川 章 子 (ムラカワ アキコ)	厚 木	視覚
池 田 恵美子 (シバタ エミコ)	厚 木	視覚
大久保 裕 康 (オオクボ ヒロヤス)	座 間	聴覚

【水泳競技】

名 前 (フリガナ)	市町村	区 分
金 子 弘 子 (カネコ ヒロコ)	大 和	肢体
豊 田 澄 子 (トヨダ スミコ)	藤 沢	視覚
伊佐治 正 幸 (イサジ マサユキ)	藤 沢	聴覚

【卓球・STT競技】

名 前 (フリガナ)	市町村	区 分
内 海 徹 (ウツミ トオル)	大 磯	肢体
中 川 久美子 (ナカガワ クミコ)	綾 瀬	聴覚
高 橋 ミヤ (タカハシ ミヤ)	大 和	視覚

【フライングディスク競技】

名 前 (フリガナ)	市町村	区 分
井 下 昭 二 (イノシタ ショウジ)	秦 野	肢体
渋谷 貴 志 (シブヤ タカシ)	寒 川	肢体
結 束 すみ子 (ケツソク スミコ)	伊勢原	聴覚

【アーチェリー競技】

名 前 (フリガナ)	市町村	区 分
山 崎 千 里 (ヤマザキ チサト)	大 和	肢体

○精神障害者競技選手

【卓球競技】

名 前 (フリガナ)	市町村
森 達 也 (モリ タツヤ)	藤 沢
沼 倉 実 加 (ヌマクラ ミカ)	厚 木

【団体競技 精神バレーボール】 (名前 (フリガナ))

大場 智浩 (オオバ トモヒロ)	菅原 宏樹 (スガワラ ヒロキ)	小松 一美 (コマツ カズミ)	松本 慎也 (マツモト シンヤ)
伊藤 将史 (イトウ マサフミ)	伊藤 義朗 (イトウ ヨシロウ)	北澤 直樹 (キタザワ ナオキ)	白石 守 (シライシ マモル)

《相模原市選手団》

○身体障害者競技選手

【陸上競技】

名 前 (フリガナ)	区 分
横 山 王 基 (ヨコヤマ オウキ)	肢体

【水泳競技】

名 前 (フリガナ)	区 分
末 田 帆 香 (スエダ ホノカ)	肢体

【卓球競技】

名 前 (フリガナ)	区 分
大 西 颯 真 (オオニシ ソウマ)	肢体

【フライングディスク競技】

名 前 (フリガナ)	区 分
熱 田 辰 雄 (アツタ タツオ)	肢体
和 田 路 代 (ワダ ミチヨ)	視覚
蔭 岡 栄美子 (ヨシオカ エミコ)	聴覚

【アーチェリー競技】

名 前 (フリガナ)	区 分
西 村 芳 健 (ニシムラ ヨシタケ)	肢体

○知的障害者競技選手

【陸上競技】

名 前 (フリガナ)	市町村
田 中 義 信 (タナカ ヨシノブ)	秦 野
東海林 昇 (トウカイリン ノボル)	秦 野
山 田 優 喜 (ヤマダ ユウキ)	平 塚
畑 木 美 乃 (ハタキ ヨシノ)	藤 沢
柿 本 空 斗 (カキモト クウト)	大 和
池 端 優 衣 (イケハタ ユイ)	平 塚
平 野 り ほ (ヒラノ リホ)	大 和
石 川 蓮 (イシカワ レン)	秦 野
池 田 裕 樹 (イケダ ヒロキ)	秦 野

【水泳競技】

名 前 (フリガナ)	市町村
小 島 雪 乃 (コジマ ユキノ)	秦 野
宮 崎 優 香 (ミヤザキ ユウカ)	横須賀
荻 野 正 人 (オギノ マサト)	小田原

【卓球競技】

名 前 (フリガナ)	市町村
井 上 雄 輔 (イノウエ ユウスケ)	横須賀
岡 田 勇 樹 (オカダ ユウキ)	横須賀
牧 野 美 月 (マキノ ミツキ)	鎌 倉

【フライングディスク競技】

名 前 (フリガナ)	市町村
福 村 翼 (フクムラ ツバサ)	座 間
斎 藤 光 平 (サイトウ コウヘイ)	寒 川
山 崎 若 菜 (ヤマザキ ワカナ)	茅ヶ崎
植 松 さやか (ウエマツ サヤカ)	茅ヶ崎

【ボウリング競技】

名 前 (フリガナ)	市町村
落 合 祐 樹 (オチアイ ユウキ)	藤 沢
金 野 樹 (キンノ タツキ)	藤 沢
中 川 恵 介 (ナカガワ ケイスケ)	厚 木
杉 本 和 香奈 (スギモト ワカナ)	藤 沢

○知的障害者競技選手

【陸上競技】

名 前 (フリガナ)	名 前 (フリガナ)
佐 藤 友 愉 (サトウ ユウユ)	田 島 彩 花 (タジマ アヤカ)
小 沼 凌 雅 (オヌマ リョウガ)	松 井 拓 也 (マツイ タクヤ)
池 田 悠 実 (イケダ ユミ)	

【水泳競技】

名 前 (フリガナ)
塗 木 愛弓華 (ヌルキ アユカ)

【卓球競技】

名 前 (フリガナ)
津 田 輝 (ツダ アキラ)

【フライングディスク競技】

名 前 (フリガナ)
柘植野 凌 也 (ツゲノ リョウヤ)

【アーチェリー競技】

名 前 (フリガナ)
菱 川 志 弥 (ヒシカワ モトヤ)

さんぽみち

石老山・顕鏡寺

相模原市 吉原 君子

NHK朝ドラ「花子とアン」で、仲間由紀恵さん演じた公爵家の葉山蓮子のモデルとされた、柳原白蓮(本名燁子、大正から昭和にかけて活躍した歌人で夫宮崎龍介)のお墓が、緑区寸沢嵐の石老山の中腹にある顕鏡寺(高野山真言宗)にあります。

石老山は、関東百名山の一つで、標高七〇二m。富士山、スカイツリー等が一望出来、人気のハイキングコースであり、当時皇太子であられた天皇陛下も登山された山です。

車は相模湖病院駐車場に止め、近道の看板を見つけて、参道入口から天然の巨岩や怪石が続く奇岩のこの道を、杖をついて一・五kmを約四十分かけて、友人三人と登り顕鏡寺へとたどり着いた。良く登ったと思う。次回からは、直接寺の駐車場へ行っている。

顕鏡寺は平安時代に建立され、境内には、樹齢数百年と言われる

根が、ヘビの様に露出している蛇木杉や神奈川名木百選に選ばれた大イチョウ等、古木に神秘的な雰囲気漂っています。

白蓮は叔母柳原愛子が大正天皇の生母で、大正天皇とはいとこにあたる。十四歳で無理矢理結婚させられ長男を授かるも、五年で離婚。次に二十五歳年上の九州の炭鉱王と見合い結婚するが、七歳年下の宮崎龍介と駆け落ちする。波動に満ちた壮絶な生き方をした、蓮子がドラマに登場するにつれ、お墓参りに訪れる人が増えたとの事です。

春には桜、新緑が美しく夏には、やまゆりが咲き秋には紅葉と、美しい景色が楽しめる。

萩や、オミナエシの咲く境内で合掌し、お墓参りをしてきた思い出があります。

柳原 白蓮 (やなぎわら びやくれん)



ペンネーム 柳原 白蓮 誕生 柳原 燁子(やなぎわら あきこ) 1885年10月15日

共生社会を目指す新たな条例が可決、施行

—鎌倉市—

みんなの広場

7月2日に行われた鎌倉市議会定例会において、「鎌倉市視覚障害者及び聴覚障害者等の情報取得等の手段についての選択の機会の確保に関する条例」が可決されました。視覚障害者および聴覚障害者等が、自らが望む形で社会に参加しやすい環境を整えるため、情報取得等の手段に係る選択の機会を確保することについて、基本理念等、必要な事項を定めようとするもので、公布の日(7月8日)から施行されました。

私たち視聴覚障害者が障害のない人と同等に、自分の望む手段で情報を得、コミュニケーションできる社会の実現に一步近づいたことはうれしい限りです。

この動きが県内すべての市町村に広がることを期待しています。

「鎌倉市視覚障害者及び聴覚障害者等の情報取得等の手段についての選択の機会の確保に関する条例」

【基本理念】

- ① 視覚障害者及び聴覚障害者等が、基本的人権を享有する個人として尊重されること。
- ② 視覚障害者及び聴覚障害者等の有する障害の状態その他の身体機能の状態にかかわらず、情報の取得及び利用並びに意思疎通を円滑に行う権利は、最大限尊重されること。
- ③ 情報取得等の手段は、手話、触覚を使った手話、認識が容易な文字の表示、点字、筆記、音声、平易な言葉、朗読、身体障害者補助犬その他の障害等の状態に応じた、利用しやすい多様なものであること。
- ④ 市、市民及び事業者は、それぞれの責務又は役割を果たし、相互に協力して取り組むこと。条例についての詳しい内容は以下のページに載っています。

<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/syougaijisha/syuwatenzizyourei.html>

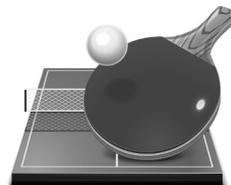
私と障害者スポーツ

海老名市 奥村 志津子

私の体に痺れが現れ、段々歩けなくなりしました。病院で何度か検査をし、やっと病気がわかりました。平成七年、脳外で脊髄腫瘍の手術をしました。手術後はまったく動けなく寝返りも出来ません。七ヶ月後に退院し、友達の誘いでプールと卓球のリハビリが始まりました。プールで歩く事もふらついて大変でしたが、友達の協力のおかげで、足がもつれても二十五メートル以上泳ぐことが出来、平成十三年に第四〇回神奈川県身体

障害者スポーツ大会が七沢のプールで開催され、銅メダルをもらいました。卓球も病気になる前、一緒にプレーした友達が卓球の練習をしてくれ、体のリハビリを応援してくれました。少しずつ体も動くようになり、平成二十二年、二十四年と県の卓球大会で優勝し、その年の国体、ぎふ清流大会に出場し、銀メダルをもらいました。その後も県大会で金、銀、銅メダルを沢山いただき、平成二十九年の愛媛国体、笑顔つなぐえひめ大会に出場し優勝、金メダルをもらいました。

手術後寝返りも出来なかった私が、立ち上がることに、歩けるようになるまでも大変でしたが、色々な方に助けられ、おかげで楽しく卓球が出来、世の中とつながりが持て、腰から下の痺れも忘れ、寝たきりにならないでいること、感謝です。



編集室から

新型コロナウイルス感染症が拡大してから早一年八ヶ月程になります。編集委員会は九名の委員で構成されていますが、一月は書面会議になり、四月は出席者四名、七月は出席者五名でした。コロナ感染症の影響で外出を制限されている方が多いからだと思います。私も遠出し、電車・バス・タクシーを利用しない生活をしています。自分で車を運転するか歩くのみです。最近の一番の遠出は編集委員会が開催される神奈川県社会福祉会館です。

最近では書面会議やオンライン会議になることが多いですが、やはり顔を合わせて話し合うことによって良い方向に進みます。人はいろいろな人と顔を合わせて繋がることが元氣になります。ワクチン接種が進み、治療薬の普及が早期に進むことを願っています。

県身連事業予定

- <10月>
 - 18日(月) 身障かながわ編集委員会 (県社会福祉センター)
- <11月>
 - 4日(木) 肢体部会野外活動 (群馬方面)
 - 20日(土) 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会① (県立スポーツセンター)
 - 21日(日) 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会② (県立スポーツセンター)
 - 27日(土) 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会③ (県立スポーツセンター)
 - 28日(日) 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会④ (県立スポーツセンター)
- <12月>
 - 11日(土) 神奈川県障害者文化・芸術祭 ~12日(日) (茅ヶ崎市民ギャラリー)
 - 18日(土) 肢体部会青年部クリスマスの集い (海老名市総合福祉会館)
- <1月>
 - 21日(金) 県障害者スポーツ大会 卓球競技会【精神障害者対象】 (県立スポーツセンター)
 - 23日(日) 県障害者スポーツ大会 卓球競技会【身体・知的障害者対象】 (県立スポーツセンター)

※問い合わせ 電話：045-311-8736
FAX：045-316-6860
<http://kanagawa-kenshinren.or.jp>

第十五回神奈川県障害者スポーツ大会

「卓球・ポッチャ」参加者募集

- 卓球競技会 (精神障害者)
 - 期日 二〇二三年一月二一日(金)
 - 会場 県立スポーツセンター
 - 申込締切 十一月二二日(月)
- 卓球・サウンドテーブルテニス競技会 (身体・知的障害者)
 - 期日 二〇二三年一月二三日(日)
 - 会場 県立スポーツセンター
 - 申込締切 十一月二二日(月)
- ポッチャ競技会
 - 期日 二〇二三年二月二〇日(日)
 - 会場 県立スポーツセンター
 - 申込締切 十二月一三日(月)

編集委員 種田 多化子